

# 日本における傷病名を中心とするレセプト情報から得られる指標の バリデーションに関するタスクフォース

## 報告書説明会

### プログラム

14:00

開会の辞 (小出)

14:05

報告書の概要 (岩上)

14:20

教科書・ガイドライン (宮崎)

14:40

レビューした文献の紹介 (久保田)

15:00

バリデーション研究の方法 (岩上)

15:20-15:40

休憩

15:40

DPCデータとDPCレセプト (今井)

15:55

大規模コホート研究におけるバリデーション研究 (後藤)

16:10

北欧におけるレコードリンケージ (今井)

16:20

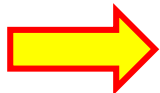
匿名加工(医療)情報とバリデーション研究 (小林)

16:35-17:25

質疑応答 (タスクフォースメンバー)

17:25

閉会の辞 (久保田)



# レセプト情報とは



# レセプト情報とは

## 本報告書で対象としている情報

### 利用する医療情報データベースの種類を理解【報告書3-(1)】

今後の研究（バリデーション研究で評価するアウトカム定義を用いて実施する研究）に利用する医療情報データベースが、入院・外来の診療報酬請求データ・退院時記録・電子カルテ・疾患レジストリー、またはそれらの組み合わせ、のどれに当たるか良く理解しておく。

## 医療情報データベースの種類

### レジストリー (Registry)



患者単位で収集され、疫学的な分析を行うためのDB。長きに渡り収集される。がん登録など。

### 診療報酬請求データ (Administrative data Billing Claims data)



医療費支払いに用いるデータ。  
レセプト、DPCレセなど。医療保険単位で作成される。

### 電子カルテデータ (EMR)



医師が記入するカルテを中心に収集されるDB。処方情報、検査結果、看護サマリ、バイタルデータを含み多岐に渡る。

### 開業医DB (GPDB)



診療所の電子カルテデータをまとめたもの。日医総研のDBなど。

### 退院サマリー (Discharge Abstract DB)



退院時に医師が作成するサマリーをDB化したもの。  
DPCデータ様式1など。

### 調剤DB



### (Drug registry)

医薬品の処方あるいは、販売情報をまとめたもの。国、地域、調剤薬局グループ毎のDB。

それぞれの区別は難しく、ほんの一例でしかない。

# 海外の医療情報データベース

北欧

Danish National Patient Registry (DNPR)  
Birth Registry of Norway (MBRN)  
Swedish drug registry  
Finnish Abortion register他

カナダ

Electronic Medical Record Administrative  
data Linked Database (EMRALD)他

米国

REGARD(Medicare)他

英国

National Health  
Service(HIS)DB他

フランス

The French Hospital Discharge  
Database (FHDDB)他

韓国

Health Insurance Review and  
Assessment service (HIRA) DB

our country

台湾

The National Health Insurance  
Research Database (NHIRD)

オーストラリア

New South Wales (NSW)  
administrative datasets他

※報告書作成時に抄読した論文より引用



入会手続き

お問い合わせ

日本薬剤疫学会案内

薬剤疫学とは

学術総会・他の集会

委員会より

学会誌

報告書・意見書

PVS 認定制度 /  
教育・研修・その他

## Member's Login

会員専用ページ

## 委員会より

## 【常設委員会】

- ① 規約委員会
- ① 編集委員会
- ① 拡充委員会
- ① 研究倫理検討委員会
- ① 認定・教育委員会

## 薬剤疫学とデータベースTF

## 日本における臨床疫学・薬剤疫学に応用可能なデータベース調査

## 【本調査の目的】

この一覧表は、日本薬剤疫学会「薬剤疫学とデータベースタスクフォース (TF)」が日本で臨床疫学や薬剤疫学に応用可能なデータベースの特徴を調査し、公開することを目的として各データベース保有者・管理者のご協力を得てまとめたものです。毎年8月を目処に情報を追加・更新いたしております。なお、この表は各データベース保有者・管理者からの情報に基づいて作成されており、本TFでは精査いたしておりません。実際に使用される場合には、各自の責任でお願いいたします。

## Survey of Japanese databases in Japan available for clinical/pharmaco- epidemiology

[This table](#) is summarized and updated annually by a "pharmacoepidemiology & database taskforce" in Japanese Society for Pharmacoepidemiology based on information provided by each data holder or database manager in order to characterize databases available for clinical/pharmaco- epidemiology in Japan. The taskforce does not verify data provided by data holders. The users are encouraged to contact directly to the data holder(s) to learn the latest information.

# バリデーション研究のセッティング

## 本報告書で明記しているセッティング

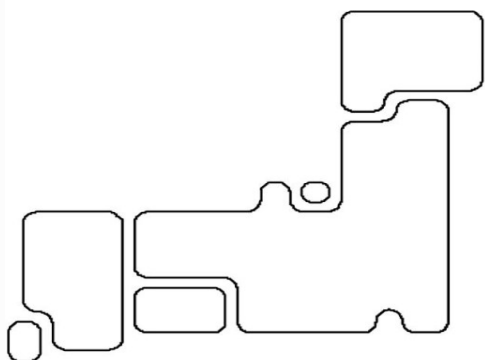
### バリデーション研究のセッティングの理解【報告書3-(2)】

理想的なバリデーション研究は、**今後の研究に利用する医療情報データベースそのもの**（からランダムサンプリングを行った集団）を対象とした研究である。この場合、バリデーション研究で求めた妥当性の指標（感度・特異度・陽性的中度・陰性的中度）を、利用する医療情報データベースに直接外挿可能である。**しかし現実的には、今後の研究に利用する医療情報データベースのうち一部の偏ったサンプルを対象にバリデーション研究を行わなければならないことが多い。**



# バリデーション研究の セッティング

## “Population-based”?



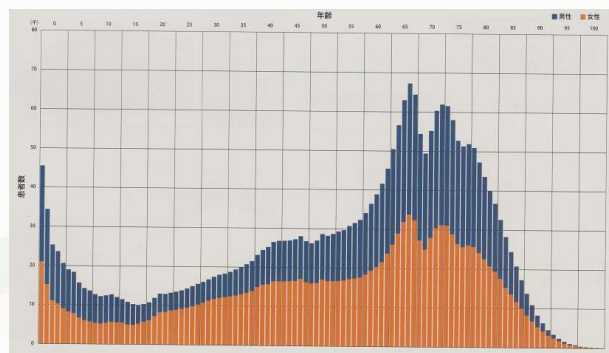
### 日本の全国民から得られた データ

NDB（レセプト情報・特定健  
診等情報データベース）であ  
れば、保険診療の範囲ではお  
およそ“population-based”

### 複数病院を統合したデータベース

日本全国民に外挿可能か？

医療情報の種類、地域、期間、医  
療機関数と特徴、対象集団の特徴



### バリデーション研究のサンプル

一部の偏ったサンプルかもしれな  
い。医療情報の種類、地域、期  
間、医療機関数と特徴、対象  
集団の特徴、サンプル方法

研究対象となる症例あるいは疾患がサンプリングされているか？

# アウトカム定義と DPCデータと 診療報酬請求データ



# アウトカム定義とDPCデータと 診療報酬請求データ

## データベースの違いによる診断病名の違い（入院）

### 電子カルテデータ (EMR)

プログレスノートという領域に、テキストで入力される場合、構造化されていない。

### DPCデータ (様式1)

主、入院契機、医療資源1・2傷病名、入院時併存症、入院後発症疾患に分けて、ICD-10コードが記録される。

### 診療報酬請求データ (レセプトデータ)

傷病名レコード（標準病名コード）は必須、傷病名称、主傷病フラグは任意

# 2014年1月入院  
2001年RA発症と紹介  
状にあり。  
間質性肺炎で入院。  
抗菌薬投与後敗血症  
によるショックか？

主傷病名：M0690  
入院契機：M0510  
医療資源1：A419  
医療資源2：M0510  
入院時併存症：M350  
入院後発症疾患：A419

傷病名レコード  
8842106,  
8847737,  
7855015,

# アウトカム定義とDPCデータと 診療報酬請求データ

## DPCデータ様式 1 における傷病名の有用性①

- 厚生労働省に提出するDPCデータのうちの退院患者サマリデータ

※出来高算定病院では作成されないデータ

### 主傷病名について

入力  
必須

退院時サマリーの主傷病欄に記入された傷病名を入力する。

### 入院の契機となった傷病名について

入力  
必須

入院時に契機傷病と判断されたものを入力する（原則、入院診療計画書に記載された病名と一致する）。又、レセプトの入院契機傷病名と一致させること。

### 医療資源を最も投入した傷病名について

入力  
必須

入院で一つだけ入力する。（DPCコードを決定する傷病）

### 医療資源を2番目に投入した傷病名について

明確に医療資源を投入した複数の傷病が発生した場合に入力する。

平成30年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料より

## DPCデータ様式1における傷病名の有用性②

### 入院時併存症名について

入院時（子様式1の場合は入院時又は転棟時）に既に存在していた疾患があれば入力する。

なお、記載に当たっては、次のものは基本的に該当するものがある場合は入力すること。

1. DPCの診断群分類の分岐に影響を及ぼしたもの（診断群分類点数表に定義された副傷病名）
2. 慢性腎不全、3. 血友病・HIV感染症、4. 併存精神疾患

これらに該当する病名が10個を超える場合は、上記の優先順位に従い、順次入力すること。

### 入院後発症疾患名について

入院後（子様式1の場合は入院後又は転棟後）に新たに発生した疾患があれば入力する。

（当該疾患の原因が入院前にあるとしても、発症した時期が入院後の場合には、入院後発症疾患とする。）

なお、記載に当たっては、入院時併存症に同じく、次のものは基本的に該当するものがある場合は入力すること。

1. DPCの診断群分類の分岐に影響を及ぼしたもの（診断群分類点数表に定義された副傷病名）
2. 術後合併症

これらに該当する病名が10個を超える場合は、上記の優先順位に従い、順次入力すること。

平成30年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料より

# アウトカム定義とDPCデータと 診療報酬請求データ

## DPCレセプト傷病名の有用性

- 電子レセプト（DPC）は、DPC参加病院が社会保険診療報酬支払基金に提出する記録  
※DPC参加病院のDPC/PDPS対象患者しか作成されないデータ。

### 第8章 傷病レコード（傷病情報）の記録方法

#### 1 レコードフォーマット

項目	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	レコード識別情報	傷病名コード	修飾語コード	傷病名称	ICD10コード	傷病名区分	死因	補足コメント

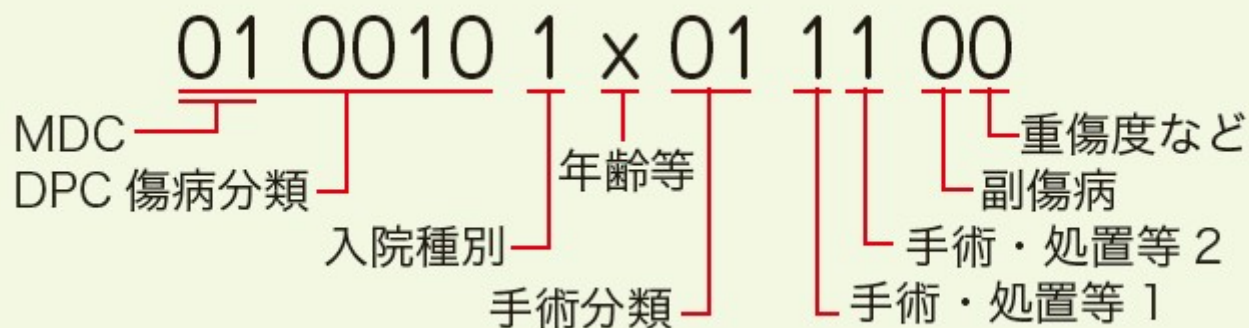
#### DPCデータの様式1と同等の情報

- 医療資源を最も投入した傷病名
- 副傷病名
- 主傷病名
- 入院の契機となった傷病名
- 医療資源を2番目に投入した傷病名
- 入院時併存傷病名
- 入院後発症傷病名

レセプト電算処理システム電子レセプトの作成手引き - D P C - 編集 社会保険診療報酬支払基金

# アウトカム定義とDPCデータと 診療報酬請求データ

## 診断群分類（DPC）コード体系



### MDC（主要診断群分類）

18分類

### DPC疾病分類

複数のICD-10で一つの疾病を構成

### 手術・処置等 1、2

分岐に影響を及ぼす手術や処置

### 副傷病

分岐に影響を及ぼす定義副傷病

アウトカムや研究対象集団を決めるアルゴリズムとして利用可能

経営力・診療力を高めるDPCデータ活用術-増補改訂版-より

# アウトカム定義とDPCデータと 診療報酬請求データ

## 病院で作成される（傷病名）データセット

	厚労省	国保		社保ほか		公費 自費他
	DPCデータ 様式1他	出来高レセ	DPCレセ	出来高レセ	DPCレセ	
DPC参加病院	○	○	○	○	○	△
DPC参加準備病院	○	○	×	○	×	△
DPCデータ提出加算あり 出来高算定病院	○	○	×	○	×	△
出来高算定病院	×	○	×	○	×	△

研究対象となる症例あるいは疾患はどのような **病院** に入院しているのか？



# アウトカム定義とDPCデータと 診療報酬請求データ

## DPCレセプトの対象となる患者

入院基本料（対象）	入院基本料（対象外）
一般病棟入院基本料	療養病棟入院基本料
特定機能病院入院基本料	結核病棟入院基本料
専門病院入院基本料	精神病棟入院基本料
	障害者施設等入院基本料
	有床診療所入院基本料
	有床診療所療養病床入院基本料

研究対象となる症例あるいは疾患はどのような **病棟** に入院しているのか？

## まとめ

### 医療情報データベースの理解

---

- 利用する医療情報データベースの種類を理解しましょう。
- バリデーション研究のセッティングを明記しましょう。
- 医療情報データベースにより生じる偏りを明確にしましょう。